

**幕別町障がい者福祉計画
第4期幕別町障がい福祉計画の策定に関する
アンケート調査報告書**

平成26年12月

幕 別 町

目 次

第1編 アンケート調査について	1
第2編 調査結果	
1 障がい者用	
問1 アンケートの記入者	2
問2 対象者の性別	2
問3 対象者の年齢	2
問4 対象者が住んでいる地区	3
問5 身体障害者手帳の等級	3
問6 身体障がいの状況	3
問7 点字図書の使用度	4
問8 手話の使用度	4
問9 療育手帳の等級	4
問10 精神障害者保健福祉手帳の有無	4
問11 自立支援医療（精神通院）の有無	5
問12 発達障がいの診断状況	5
問13 難病の診断状況	5
問14 障害福祉サービスの利用状況と利用意向	6
問15 障害福祉サービスでの困りごと	10
問16 障害福祉サービスの未利用理由	10
問17 現在の住まい	11
問18 住まいでの困りごと	11
問19 現在の家族構成	12
問20 介護者等の対象者	13
問21 介護者の年齢	14
問22 これからの生活住居	15
問23 相談できる対象者	16
問24 相談する事項	17
問25 相談支援体制の満足度	18
問26 成年後見制度の理解度	19
問27 成年後見制度の利用意向	20
問28 外出の頻度	21
問29 外出の目的	22
問30 外出の交通手段	23
問31 外出先での困りごと	24
問32 就労の実態	25
問33 就労希望	26
問34 就労先の希望	27

問35	就労するための配慮	28
問36	「みんなのふくし」の感想	29
問37	障がい福祉制度の情報収集方法	30
問38	災害時での支援者の有無	31
問39	災害時での困りごと	32
問40	障がい者としての差別意識	33
問41	障がいのある人の暮らしやすさ	34
問42	暮らしやすくするための施策の要望	35
問43	自由記載	36

第1編 アンケート調査について

1 調査の目的

この調査は、平成27年度を初年度とする幕別町障がい者福祉計画・第4期幕別町障がい福祉計画の策定にあたり、障がいのある人（ご家族）に対して、障害福祉サービスの利用実態や生活面・経済面での実態、障がいに対する地域の理解度や将来の希望を把握し、今後の障がい福祉施策に反映することを目的として実施しました。

2 調査の実施

(1) 障がい者用～617人

18歳から64歳までの幕別町に住所を有する人で、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・自立支援医療（精神通院医療）受給者証を持っている人

3 調査の方法 配布は郵送で行い、回答は返信用封筒での郵送で行ないました。

4 調査の期間 平成26年9月8日～9月26日

5 調査の回収状況

区分	発送数	回答数	回答率
障がい者用	617人	282人	45.7%
（前回調査）	625人	300人	48.0%

6 報告書の見方

- (1) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基礎として、小数点第2位を四捨五入して算出しています。このため、合計数が100%とならない場合があります。
- (2) 複数回答形式の場合は、回答比率の合計が100%を超えています。
- (3) 回答の選択肢や自由意見は、簡略化して表現している場合があります。
- (4) 障がいの種別集計は、障害者手帳の質問の中で把握した人での集計であり、複数の障がいのある人は、それぞれの障がい別でカウントしています。
- (5) 回答結果で網掛けになっている箇所は、単数回答形式で1番多かった回答、複数回答形式で3番目まで多かった回答となっています。ただし、「その他」や「無回答」の回答は除いています。

第2編 調査結果

1 障がい者用

アンケートの記入者について

問1 この調査票にお答えになる方はどなたですか。（1つに○）

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	本人が答える	238	84.4%
2	本人の意見を家族や介助者などが答える	27	9.6%
3	本人の意見を確認することがむずかしいので、家族や介助者などが答える	6	2.1%
	無回答	11	3.9%

問2 あなたの性別はどちらですか。（1つに○）

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	男性	119	42.2%
2	女性	160	56.7%
	無回答	3	1.1%

問3 現在のあなたの年齢は何歳ですか。（1つに○）

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	18・19歳	3	1.1%
2	20-29歳	19	6.7%
3	30-39歳	32	11.3%
4	40-49歳	64	22.7%
5	50-59歳	78	27.7%
6	60歳以上	82	29.1%
	無回答	4	1.4%

問4 お住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	幕別市街地区	70	24.8%
2	札内市街地区	169	59.9%
3	幕別札内農村地区	28	9.9%
4	忠類市街地区	10	3.5%
5	忠類農村地区	1	0.4%
	無回答	4	1.4%

問5 あなたは、身体障害者手帳をお持ちですか。(1つに○)

		総数	(282)
	回答	件数	割合
	【身体障害者手帳を持っている人】	166	58.9%
1	1級	53	18.8%
2	2級	26	9.2%
3	3級	29	10.3%
4	4級	40	14.2%
5	5級	12	4.3%
6	6級	6	2.1%
	【身体障害者手帳を持っていない人】	84	29.8%
	無回答	32	11.3%

問6 身体障害者手帳に表示されている区分は、どのような障がいと書かれていますか。

(複数回答)

		総数	(166)
	回答	件数	割合
1	視覚障害	9	5.4%
2	聴覚障害	11	6.6%
3	音声・言語・そしゃく機能障害	5	3.0%
4	肢体不自由(上肢)	28	16.9%
5	肢体不自由(下肢)	80	48.2%
6	肢体不自由(体幹)	13	7.8%
7	内部障害(心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう、直腸、小腸、肝臓、免疫の機能障害)	35	21.1%
	無回答	22	13.3%

問7 視覚障害の方にお聞きします。点字図書を使うことができますか。(1つに○)

		総数	(9)
	回答	件数	割合
1	使うことができる	1	11.1%
2	使うことができない	7	77.8%
	無回答	1	11.1%

問8 聴覚障害の方にお聞きします。手話を使うことができますか。(1つに○)

		総数	(11)
	回答	件数	割合
1	使うことができる	2	18.2%
2	使うことができない	8	72.7%
	無回答	1	9.1%

問9 あなたは、療育手帳をお持ちですか。(1つに○)

		総数	(282)
	回答	件数	割合
	【療育手帳を持っている人】	32	11.3%
1	A判定	11	3.9%
2	B判定	21	7.4%
	【療育手帳を持っていない人】	196	69.5%
	無回答	54	19.1%

問10 あなたは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(1つに○)

		総数	(282)
	回答	件数	割合
	【精神障害者保健福祉手帳を持っている人】	40	14.2%
1	1級	1	0.4%
2	2級	25	8.9%
3	3級	14	5.0%
	【精神障害者保健福祉手帳を持っていない人】	196	69.5%
	無回答	46	16.3%

問11 あなたは、自立支援医療（精神通院）受給者証をお持ちですか。（1つに○）

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	持っている	115	40.8%
	※うち問10にある精神保健福祉手帳を持っていない人または無回答の数	79	68.7%
2	持っていない	132	46.8%
	無回答	35	12.4%

※ 精神障がいのある人の回答数は、問10で「手帳を持っている人」の回答者数40人と上記にある「手帳を持っていないが自立支援医療受給者証を持っている」の回答者数79人を合わせた119人となります。

問12 あなたは、発達障がいとして診断されたことがありますか。（1つに○）

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	診断されたことがある	18	6.4%
2	診断されたことがない	219	77.7%
	無回答	45	16.0%

問13 あなたは、難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（1つに○）

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	受けている	15	5.3%
2	受けていない	217	77.0%
	無回答	50	17.7%

あなたのサービス利用状況と利用意向について、おうかがいします

問14 あなたは、以下のサービスを利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。（1つに○）

【調査結果】

居宅介護は、「将来必要な時がきたら利用したい」と答えた人が多いですが、他のサービスは、「利用しないと思う」と答えた人が多くなっています。

① ヘルパーによる自宅での介護や支援（居宅介護）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	13	4.6%	4.0%	0.6%
2	将来必要な時に利用したい	114	40.4%	49.3%	-8.9%
3	利用しないと思う	107	37.9%	21.0%	16.9%
	無回答	48	17.0%	7.3%	9.7%

② 知的障がいなどで行動が困難であるためにヘルパーによる外出や行動の支援（行動援護）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	4	1.4%	2.7%	-1.3%
2	将来必要な時に利用したい	47	16.7%	50.0%	-33.3%
3	利用しないと思う	165	58.5%	25.0%	33.5%
	無回答	66	23.4%	7.7%	15.7%

③ 視覚障がいなどで行動が困難であるためにヘルパーによる外出や行動の支援（行動援護）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	1	0.4%	-	-
2	将来必要な時に利用したい	45	16.0%	-	-
3	利用しないと思う	162	57.4%	-	-
	無回答	74	26.2%	-	-

④ 通いで機能訓練などを受けるデイサービス（生活介護）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	11	3.9%	4.7%	-0.8%
2	将来必要な時に利用したい	94	33.3%	43.0%	-9.7%
3	利用しないと思う	120	42.6%	26.3%	16.3%
	無回答	57	20.2%	7.3%	12.9%

⑤ 生活自立のための訓練や支援（自立訓練）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	13	4.6%	6.0%	-1.4%
2	将来必要な時に利用したい	102	36.2%	46.3%	-10.1%
3	利用しないと思う	116	41.1%	21.7%	19.4%
	無回答	51	18.1%	8.0%	10.1%

⑥ 施設に短期間入所するサービス（短期入所）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	5	1.8%	1.3%	0.5%
2	将来必要な時がきたら利用したい	109	38.7%	47.3%	-8.6%
3	利用しないと思う	120	42.6%	26.7%	15.9%
	無回答	48	17.0%	5.0%	12.0%

⑦ 会社で働きたい人に、一定期間、就労のための訓練や支援（就労移行支援）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	14	5.0%	8.0%	-3.0%
2	将来必要な時がきたら利用したい	69	24.5%	34.0%	-9.5%
3	利用しないと思う	142	50.4%	32.3%	18.1%
	無回答	57	20.2%	6.0%	14.2%

⑧ 会社で働くことができない人に、能力向上のための就労訓練や支援（就労継続支援）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	23	8.2%	8.0%	0.2%
2	将来必要な時がきたら利用したい	65	23.0%	34.0%	-11.0%
3	利用しないと思う	138	48.9%	32.3%	16.6%
	無回答	56	19.9%	6.0%	13.9%

⑨ スタッフなどの支援を受けながら少人数での共同生活（共同生活援助）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	5	1.8%	0.7%	1.1%
2	将来必要な時がきたら利用したい	79	28.0%	39.0%	-11.0%
3	利用しないと思う	142	50.4%	33.3%	17.1%
	無回答	56	19.9%	5.3%	14.6%

⑩ 施設への入所（施設入所支援）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	6	2.1%	1.0%	1.1%
2	将来必要な時がきたら利用したい	102	36.2%	39.3%	-3.1%
3	利用しないと思う	124	44.0%	31.0%	13.0%
	無回答	50	17.7%	6.0%	11.7%

⑪ 日常生活用具の給付・貸与、補装具の給付

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	31	11.0%	14.7%	-3.7%
2	将来必要な時がきたら利用したい	102	36.2%	41.3%	-5.1%
3	利用しないと思う	103	36.5%	20.7%	15.8%
	無回答	46	16.3%	7.0%	9.3%

⑫ 要約筆記・手話などのコミュニケーション支援

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	3	1.1%	2.3%	-1.2%
2	将来必要な時がきたら利用したい	45	16.0%	28.3%	-12.3%
3	利用しないと思う	166	58.9%	38.7%	20.2%
	無回答	68	24.1%	11.3%	12.8%

⑬ 外出するための支援（移動支援）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	10	3.5%	4.0%	-0.5%
2	将来必要な時がきたら利用したい	107	37.9%	49.7%	-11.8%
3	利用しないと思う	116	41.1%	26.0%	15.1%
	無回答	49	17.4%	7.7%	9.7%

⑭ 自宅まで来てくれる訪問入浴サービス

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	4	1.4%	1.0%	0.4%
2	将来必要な時がきたら利用したい	77	27.3%	40.7%	-13.4%
3	利用しないと思う	144	51.1%	32.3%	18.8%
	無回答	57	20.2%	9.0%	11.2%

＜調査結果・障がい者用＞

⑮ 昼間、施設で見守りなどを行うサービス（日中一時支援）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	8	2.8%	8.3%	-5.5%
2	将来必要な時がきたら利用したい	103	36.5%	40.3%	-3.8%
3	利用しないと思う	121	42.9%	24.0%	18.9%
	無回答	50	17.7%	8.7%	9.0%

⑯ 創作的活動を通じて、社会との交流の場を提供するサービス（地域活動支援センター）

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	現在利用している	6	2.1%	8.3%	-6.2%
2	将来必要な時がきたら利用したい	100	35.5%	40.3%	-4.8%
3	利用しないと思う	122	43.3%	24.0%	19.3%
	無回答	54	19.1%	8.7%	10.4%

問15 問14で1つでも「1」に○をつけた方にお聞きします。

サービスを利用するうえで、困っていることは何ですか。(複数回答)

【調査結果】

「サービス提供内容の情報が少ない」、「サービス内容や手続きなどが複雑でわかりにくい」と答えた人が多くなっています。

		総数	(75)
	回答	件数	割合
【困っていることがある】		32	42.7%
1	サービス提供内容の情報が少ない	14	18.7%
2	サービスの内容や手続きなどが複雑でわかりにくい	12	16.0%
3	事業者との日時などの調整が大変	3	4.0%
4	利用したいサービス事業所がない	5	6.7%
5	利用できる回数や日時が少ない	8	10.7%
6	サービスの質に不満がある	5	6.7%
7	他の利用者との人間関係	10	13.3%
8	利用者負担が大きい	4	5.3%
9	その他	4	5.3%
【困っていないことがない】		22	29.3%
無回答		21	28.0%

問16 問14で1つも「1」に○をつけなかった方にお聞きします。

サービスを利用していない、または、今後も利用する予定がないのは、なぜですか。

(複数回答)

【調査結果】

サービスを利用しない理由として、自分の身の回りのことは自分や家族でできると答えた人が多くなっています。

		総数	(207)	(300)	
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	身の回りのことは自分でできるので、サービスを受ける必要がない	106	51.2%	43.7%	7.5%
2	身の回りのことは家族などが近くにいるので、サービスを受ける必要がない	37	17.9%	9.3%	8.6%
3	サービスを利用したいが、サービス提供内容の情報が少ない	13	6.3%	—	—
4	サービスを利用したいが、手続きなどが複雑でわかりにくい	10	4.8%	3.3%	1.5%
5	サービスを利用したいが、近くにサービスをしてくれる事業所がない	3	1.4%	1.7%	-0.3%
6	サービスを利用したいが、利用者負担が大きい	12	5.8%	3.3%	2.5%
7	その他	9	4.3%	3.3%	1.0%
無回答		71	34.3%	35.3%	-1.0%

住まいや暮らしについて、おうかがいします

問17 現在、あなたの住まいは何ですか。（1つに○）

【調査結果】

住まいとして、「持ち家」、「公営住宅」、「賃貸住宅」の順となっています。

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	持ち家	189	67.0%
2	公営住宅	41	14.5%
3	賃貸住宅(マンション・アパートなど)	36	12.8%
4	グループホームで暮らしている	6	2.1%
5	病院に入院または施設に入所している	2	0.7%
6	その他	2	0.7%
無回答		6	2.1%

問18 あなたの現在の住まいで困っていることは何ですか。（複数回答）

【調査結果】

住まいで困っている人と困っていない人が半々であり、困っている理由は、おもに住まいが古いために寒暖差が激しかったり、段差があったりして不便していると答えています。

		総数	(282)
	回答	件数	割合
【困っていることがある】		122	43.3%
1	古くて、壊れてきている	45	16.0%
2	寒暖差が激しい	56	19.9%
3	玄関や階段に段差がある	42	14.9%
4	風呂やトイレが不便である	21	7.4%
5	家賃が高い	18	6.4%
6	他の部屋の音が聞こえやすい	26	9.2%
7	その他	12	4.3%
【困っていないことがない】		128	45.4%
無回答		32	11.3%

問19 現在、あなたが一緒に暮らしている人はどなたですか。（複数回答）

【調査結果】

一緒に暮らしている人として、家族と一緒に暮らしている人がほとんどであります。しかし、なかには、一人で暮らしている人が12.8%であり、その答えた人の年齢は50歳代以上が半分以上となっています。

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	父母・祖父母・兄弟	106	37.6%
2	配偶者（夫または妻）	130	46.1%
3	子ども	72	25.5%
4	一人で暮らしている	36	12.8%
5	グループホームで暮らしている	5	1.8%
6	病院に入院または施設に入所している	2	0.7%
7	その他	5	1.8%
	無回答	6	2.1%

【一人で暮らしている人の年齢・障がい別】

総数	(22)	(4)	(15)
	身体	知的	精神
40歳未満	2	0	0
40歳代	5	1	4
50歳代	3	1	7
60歳以上	12	2	4

問20 日常生活で、あなたに対して声掛けや介助・介護している人は、主にどなたですか。
(複数回答)

【調査結果】

主に声掛けや介助・介護している人として、父母や配偶者などの家族が多くなっています。

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	父母・祖父母・兄弟	75	26.6%
2	配偶者(夫または妻)	80	28.4%
3	子ども	9	3.2%
4	ホームヘルパーや施設職員	15	5.3%
5	その他	6	2.1%
6	声掛けや介助・介護は受けていない	69	24.5%
	無回答	28	9.9%

【障がいの種別集計】

	総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神
1	父母・祖父母・兄弟	33	18	38
2	配偶者(夫または妻)	62	1	25
3	子ども	9	0	1
4	ホームヘルパーや施設職員	8	5	9
5	その他	3	0	3
6	声掛けや介助・介護は受けていない	39	5	28
	無回答	12	3	15

問21 問20で「1」～「3」に○をつけた方にお聞きします。

あなたに対して声掛けや、介助・介護している人の年齢は何歳ですか。（1つに○）

【調査結果】

主に声掛けや介助・介護している人の年齢として、50歳以上の方が70%以上を占めており、介護者の高齢化が表れています。

		総数	(164)
	回答	件数	割合
1	40歳未満	16	9.8%
2	40～49歳	21	12.8%
3	50～59歳	41	25.0%
4	60～69歳	52	31.7%
5	70～79歳	19	11.6%
6	80歳以上	9	5.5%
	無回答	6	3.7%

【障がいの種別集計】

		総数	(104)	(19)	(64)
	回答	身体	知的	精神	
1	40歳未満	12	1	4	
2	40～49歳	11	3	14	
3	50～59歳	27	9	12	
4	60～69歳	33	2	21	
5	70～79歳	12	3	7	
6	80歳以上	6	1	2	
無回答		3	0	4	

問22 あなたは、将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。（1つに○）

【調査結果】

将来の暮らし方として、「家族と一緒に暮らしたい」と答えた人が多いです。

	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	一人暮らしをしたい	31	11.0%	11.0%	0.0%
2	家族と一緒に暮らしたい	140	49.6%	61.7%	-12.1%
3	気のあう友人や知人と暮らしたい	10	3.5%	4.3%	-0.8%
4	グループホームなどで暮らしたい	16	5.7%	4.3%	1.4%
5	病院や福祉施設で暮らしたい	13	4.6%	2.3%	2.3%
6	その他	4	1.4%	1.0%	0.4%
7	わからない	54	19.1%	10.7%	8.4%
	無回答	14	5.0%	4.7%	0.3%

【障がいの種別集計】

		総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神	
1	一人暮らしをしたい	17	7	12	
2	家族と一緒に暮らしたい	82	11	60	
3	気のあう友人や知人と暮らしたい	5	0	6	
4	グループホームなどで暮らしたい	8	5	10	
5	病院や福祉施設で暮らしたい	10	2	4	
6	その他	1	0	3	
7	わからない	35	4	19	
	無回答	8	3	5	

住まいや暮らしについて、おうかがいします

問23 あなたは、悩みごとや心配ごとを相談できる人がいますか。（複数回答）

【調査結果】

相談できる人として、「家族や親戚」、「友人や知人」、「医療機関の職員」の順となっています。障がいの種別で見ると、知的障がいは、「サービス事業所や相談支援事業所の職員」に相談していると答えている人が多くいる一方で、「どこに相談したらよいかわからない」と答えている人もやや多いです。

		総数	(282)		
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	家族や親戚	204	72.3%	72.7%	-0.4%
2	医療機関の職員（主治医・看護師・ケースワーカーなど）	68	24.1%	28.7%	-4.6%
3	保健福祉センターの職員や保健所の保健師	15	5.3%	9.7%	-4.4%
4	社会福祉協議会の職員	6	2.1%	1.0%	1.1%
5	職場関係の人や学校の先生	21	7.4%	6.0%	1.4%
6	障がい者サービス事業所・相談支援事業所の職員	32	11.3%	8.7%	2.6%
7	友人や知人	101	35.8%	32.7%	3.1%
8	障がい者団体や患者の仲間	12	4.3%	4.7%	-0.4%
9	身体障がい者相談員・知的障がい者相談員（地域相談員）	4	1.4%	1.0%	0.4%
10	民生委員・児童委員	8	2.8%	1.0%	1.8%
11	ハローワークや十勝障がい者就業・生活支援センターの職員	13	4.6%	-	-
12	その他	6	2.1%	2.0%	0.1%
13	どこに相談したらよいかわからない（誰もいない）	27	9.6%	7.3%	2.3%
	無回答	6	2.1%	3.0%	-0.9%

【障がいの種別集計】

	総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神
1	家族や親戚	124	17	81
2	医療機関の職員（主治医・看護師・ケースワーカーなど）	31	2	44
3	保健福祉センターの職員や保健所の保健師	10	2	6
4	社会福祉協議会の職員	5	2	1
5	職場関係の人や学校の先生	11	1	9
6	障がい者サービス事業所・相談支援事業所の職員	13	10	20
7	友人や知人	59	4	43
8	障がい者団体や患者の仲間	7	1	6
9	身体障がい者相談員・知的障がい者相談員（地域相談員）	3	2	2
10	民生委員・児童委員	4	3	5
11	ハローワークや十勝障がい者就業・生活支援センターの職員	5	3	7
12	その他	2	0	4
13	どこに相談したらよいかわからない（誰もいない）	15	8	11
	無回答	5	1	1

問24 現在、悩みごとや心配ごとなど相談したいことは、何ですか。（複数回答）

【調査結果】

相談したいことがらとして、「病気に関すること」、「就労のこと」、「経済的なこと」の順となっており、前回調査とほぼ似た傾向です。

また、「今はないが、何かあったときには誰かに相談したい」と答えた割合が前回調査と比べて多くなっています。

障がいの種別ごとにみると、回答にばらつきがあり、身体障がいのある人や精神障がいのある人は、「将来の住まいや家事のこと」が多くなっています。

		総数	(282)		
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	健康や治療に関すること	96	34.0%	41.3%	-7.3%
2	家族関係のこと	36	12.8%	15.0%	-2.2%
3	職場や事業所内での対人関係のこと	24	8.5%	16.7%	-8.2%
4	社会参加に関すること	17	6.0%	10.0%	-4.0%
5	就労(仕事)のこと	56	19.9%	23.0%	-3.1%
6	経済的・金銭管理のこと	52	18.4%	25.0%	-6.6%
7	将来の住まいや家事(炊事・洗濯・掃除)のこと	49	17.4%	-	-
8	外出や移動のこと	13	4.6%	-	-
9	緊急時や災害時のこと	23	8.2%	-	-
10	話し相手がないこと	15	5.3%	-	-
11	その他	7	2.5%	3.3%	-0.8%
12	今はないが、何かあったときには誰かに相談したい	85	30.1%	25.3%	4.8%
13	人には相談したくない	4	1.4%	2.7%	-1.3%
	無回答	29	10.3%	10.7%	-0.4%

【障がいの種別集計】

		総数	(166)	(32)	(119)
	回答		身体	知的	精神
1	健康や治療に関すること	53	53	5	52
2	家族関係のこと	16	16	1	22
3	職場や事業所内での対人関係のこと	8	8	3	14
4	社会参加に関すること	7	7	0	8
5	就労(仕事)のこと	25	25	5	28
6	経済的・金銭管理のこと	23	23	7	30
7	将来の住まいや家事(炊事・洗濯・掃除)のこと	24	24	4	28
8	外出や移動のこと	7	7	4	3
9	緊急時や災害時のこと	16	16	1	6
10	話し相手がないこと	10	10	2	8
11	その他	1	1	3	5
12	今はないが、何かあったときには誰かに相談したい	59	59	8	22
13	人には相談したくない	3	3	2	1
	無回答	17	17	4	14

問25 現在、困ったときの相談体制について、どのように感じていますか。(複数回答)

【調査結果】

困ったときの相談体制について、満足と不満がほぼ同じ割合であります。満足していないと答えた理由として、「気軽に相談できる場」、「専門的な相談窓口が少ない」、「近くに相談できる場がない」が多いです。

障がいの種別ごとにみると、特に身体障がいのある人の相談体制に満足していない方が多いです。

		総数	(282)
	回答	件数	割合
	【満足していると答えた人数】	119	42.2%
	【満足していないと答えた人数】	105	37.2%
1	近くに相談できる場や人がいない	24	8.5%
2	気軽に相談できる場や人がいない	37	13.1%
3	夜間、休日に相談できる場や人がいない	16	5.7%
4	専門的な相談窓口が少ない	36	12.8%
5	コミュニケーションの支援(手話や要約筆記など)が十分でない	3	1.1%
5	頼りになる人がいない	20	7.1%
6	その他	20	7.1%
	無回答	58	20.6%

【障がいの種別集計】

	総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神
	【満足していると答えた人数】	62	16	58
	【満足していないと答えた人数】	62	8	44
1	近くに相談できる場や人がいない	10	4	12
2	気軽に相談できる場や人がいない	21	3	13
3	夜間、休日に相談できる場や人がいない	7	0	10
4	専門的な相談窓口が少ない	21	3	16
5	コミュニケーションの支援(手話や要約筆記など)が十分でない	2	0	1
5	頼りになる人がいない	11	4	9
6	その他	13	0	9
	無回答	42	8	17
	満足度	37.3%	50.0%	48.7%

権利擁護について、おうかがいします

問13 あなたは、成年後見制度について、知っていますか。（1つに○）

※ 成年後見制度とは、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度です。

【調査結果】

成年後見制度は、前回調査から比べて、認知度が高くなってきています。しかし、障がいの種別でみると、知的障がいのある人や精神障がいのある人は、まだまだ名前や内容も知らないと答えた人が多いです。

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	名前も内容も知らない	89	31.6%	47.3%	-15.7%
2	名前を聞いたことはあるが、内容は知らない	91	32.3%	25.7%	6.6%
3	名前も内容も知っている	83	29.4%	19.3%	10.1%
	無回答	19	6.7%	7.7%	-1.0%

【障がいの種別集計】

		総数	(166)	(32)	(119)
	回答		身体	知的	精神
1	名前も内容も知らない	48	17	42	
2	名前を聞いたことはあるが、内容は知らない	54	7	40	
3	名前も内容も知っている	54	4	32	
	無回答	10	4	5	

問27 あなたは、成年後見制度を活用したいと思いますか。（1つに○）

【調査結果】

成年後見制度の活用は、「わからない」と答えた人が前回調査から比べて少なくなっています。また、「すでに活用している」、「今は必要ないが、将来必要になったら活用したい」と答えた割合が合わせて、前回調査と同じ38%となっています。

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	すでに活用している	3	1.1%	0.7%	0.4%
2	今は必要ないが、将来必要になったら活用したい	104	36.9%	37.3%	-0.4%
3	活用したいと思わない	64	22.7%	15.3%	7.4%
4	わからない	90	31.9%	39.0%	-7.1%
	無回答	21	7.4%	7.7%	-0.3%

【障がいの種別集計】

		総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神	
1	すでに活用している	2	1	1	
2	今は必要ないが、将来必要になったら活用したい	56	14	44	
3	活用したいと思わない	41	3	29	
4	わからない	56	12	35	
	無回答	11	2	10	

外出や仕事について、おうかがいします

問28 あなたは、1 か月間にどの程度外出（通勤や通院なども含みます）しますか。（1 つに○）

【調査結果】

ほとんどの人が「ほぼ毎日外出する」と答えています。

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	ほぼ毎日外出する	165	58.5%
2	月に数回外出する	96	34.0%
3	めったに外出しない	9	3.2%
4	まったく外出しない	3	1.1%
	無回答	9	3.2%

【障がいの種別集計】

		総数	(166)	(32)	(119)
	回答		身体	知的	精神
1	ほぼ毎日外出する	100	100	19	68
2	月に数回外出する	53	53	7	45
3	めったに外出しない	6	6	4	2
4	まったく外出しない	2	2	0	1
	無回答	5	5	2	3

問29 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（複数回答）

【調査結果】

全体でみると、「買い物」、「医療機関への受診」、「会社の通勤」と答えた人が多く、障がいの種別をみても、同じ傾向を示しています。

		総数	(270)
	回答	件数	割合
1	会社の通勤	101	37.4%
2	医療機関への受診やリハビリ	178	65.9%
3	サービス事業所の通所	37	13.7%
4	買い物	209	77.4%
5	友人や知人の会合	49	18.1%
6	趣味やスポーツ	60	22.2%
7	グループ活動の参加	18	6.7%
8	散歩	67	24.8%
9	イベントや祭りの見学	27	10.0%
10	その他	18	6.7%
	無回答	6	2.2%

【障がいの種別集計】

	総数	(159)	(30)	(115)
	回答	身体	知的	精神
1	会社の通勤	65	10	34
2	医療機関への受診やリハビリ	99	13	85
3	サービス事業所の通所	14	8	23
4	買い物	121	21	87
5	友人や知人の会合	24	4	20
6	趣味やスポーツ	35	8	23
7	グループ活動の参加	11	2	7
8	散歩	37	7	29
9	イベントや祭りの見学	13	9	10
10	その他	8	1	10
	無回答	3	2	2

問30 あなたが外出するときの交通手段は何ですか。（複数回答）

【調査結果】

全体でみると、自家用車の利用が8割以上となっています。障がいの種別でみると、回答にはばらつきがあり、身体障がいのある人は、「タクシー」、知的障がいのある人と精神障がいのある人は、「バスや電車」を利用していると答えた人が多くなっています。

		総数	(270)
	回答	件数	割合
1	徒歩	86	31.9%
2	車いす	12	4.4%
3	自転車やオートバイ	50	18.5%
4	自家用車（本人または家族の運転）	219	81.1%
5	バスや電車	49	18.1%
6	タクシー	31	11.5%
7	コミバス	3	1.1%
8	サービス事業所や病院などの送迎車	26	9.6%
9	その他	2	0.7%
	無回答	5	1.9%

【障がいの種別集計】

	総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神
1	徒歩	43	12	38
2	車いす	12	0	4
3	自転車やオートバイ	22	10	19
4	自家用車（本人または家族の運転）	132	15	92
5	バスや電車	16	12	25
6	タクシー	22	4	8
7	コミバス	0	1	2
8	サービス事業所や病院などの送迎車	15	7	17
9	その他	2	0	0
	無回答	2	2	2

問31 外出の際に困ったり、不便に感じたりすることはありますか。（複数回答）

【調査結果】

全体でみると、「とくに困ったり不便に感じたりすることはない」と答えた人の割合が50.4%で前回調査から約7%高くなっています。障がいの種別でみても、前回調査から比べて、「とくに困ったり不便に感じたりすることはない」と答えた人が高くなっています。

		総数 (270)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	付き添ってくれる人がいない	12	4.4%	2.0%	2.4%
2	障がい者用トイレが少ない	12	4.4%	8.7%	-4.3%
3	周りの視線が気になる	29	10.7%	10.0%	0.7%
4	コミュニケーションがとりにくい	27	10.0%	10.0%	0.0%
5	必要なときに周りの人の手助け・配慮が足りない	11	4.1%	6.7%	-2.6%
6	道路・建物の段差や汽車・バスなどの乗り降りが大変である	25	9.3%	14.7%	-5.4%
7	気軽に利用できる移動手段が少ない（福祉タクシーなど）	14	5.2%	11.0%	-5.8%
8	障がい者用の駐車スペース・手すりなど障がい者に配慮した設備が不十分である	26	9.6%	11.0%	-1.4%
9	通路上に自転車や看板などの障がい物がある通りにくい	3	1.1%	6.0%	-4.9%
10	バスや電車での切符の買い方や乗車方法がわかりにくい	11	4.1%	-	-
11	とくに困ったり不便に感じたりすることはない	136	50.4%	43.7%	6.7%
12	その他	7	2.6%	0.0%	2.6%
13	ほとんど外出しないのでわからない	4	1.5%	6.7%	-5.2%
	無回答	34	12.6%	10.7%	1.9%

【障がいの種別集計】

		総数	(166)	(32)	(119)
	回答		身体	知的	精神
1	付き添ってくれる人がいない		6	1	7
2	障がい者用トイレが少ない		10	2	1
3	周りの視線が気になる		9	3	15
4	コミュニケーションがとりにくい		12	2	14
5	必要なときに周りの人の手助け・配慮が足りない		6	1	5
6	道路・建物の段差や汽車・バスなどの乗り降りが大変である		23	0	4
7	気軽に利用できる移動手段が少ない（福祉タクシーなど）		8	1	5
8	障がい者用の駐車スペース・手すりなど障がい者に配慮した設備が不十分である		25	3	5
9	通路上に自転車や看板などの障がい物がある通りにくい		2	1	0
10	バスや電車での切符の買い方や乗車方法がわかりにくい		5	2	5
11	とくに困ったり不便に感じたりすることはない		73	16	66
12	その他		2	0	5
13	ほとんど外出しないのでわからない		3	0	1
	無回答		20	7	12
	11と回答した（不便に感じていない）割合		44.0%	50.0%	55.5%
	【前回】割合		40.6%	47.2%	47.2%

問32 あなたは、現在、仕事（就労移行支援や就労継続支援の利用は含みません）をしていますか。（1つに○）

【調査結果】

現在、働いていないと答えた人は半数以上となっています。障がいの種別でみると、働いている人の割合は、身体障がいの人が高く、知的障がいの人や精神障がいの人が高くなっています。

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	会社の正職員で、他の職員と勤務条件の違いはなく、働いている	30	10.6%
2	会社の正職員で、短時間勤務などの勤務条件の配慮があり、働いている	2	0.7%
3	会社などのアルバイト、パートの職員、派遣職員として働いている	52	18.4%
4	自営業を営んでいる	17	6.0%
5	内職や自営業を手伝っている	6	2.1%
6	その他	11	3.9%
7	働いていない	148	52.5%
	無回答	16	5.7%

【障がいの種別集計】

	総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神
1	会社の正職員で、他の職員と勤務条件の違いはなく、働いている	21	0	11
2	会社の正職員で、短時間勤務などの勤務条件の配慮があり、働いている	1	0	1
3	会社などのアルバイト、パートの職員、派遣職員として働いている	32	7	18
4	自営業を営んでいる	14	1	4
5	内職や自営業を手伝っている	4	0	2
6	その他	4	1	6
7	働いていない	80	18	74
	無回答	10	5	3
	就労率	45.8%	28.1%	35.3%

問33 問32で「7」に○をつけた方にお聞きします。

あなたは、仕事をしたいと思いますか。（1つに○）

【調査結果】

仕事の意欲については、前回調査から比べて、低くなっています。一方で、「仕事をしたい思いがあるが、自分にあった仕事があるか不安に感じる」と答えた人が前回調査と同様に約30%を占めております。

		総数	(148)		
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	すぐにでも仕事をしたい	8	5.4%	14.5%	-9.1%
2	今すぐにはむずかしいけれど、将来的には仕事をしたい	20	13.5%	14.5%	-1.0%
3	仕事をしたい思いはあるが、自分にあった仕事があるか不安に感じる	43	29.1%	31.0%	-1.9%
4	仕事をしたいとは思わない、または仕事ができない	61	41.2%	22.0%	19.2%
5	その他	6	4.1%	3.0%	1.1%
	無回答	10	6.8%	15.0%	-8.2%

【障がいの種別集計】

		総数	(80)	(18)	(74)
	回答	身体	知的	精神	
1	すぐにでも仕事をしたい	7	1	2	
2	今すぐにはむずかしいけれど、将来的には仕事をしたい	5	2	12	
3	仕事をしたい思いはあるが、自分にあった仕事があるか不安に感じる	21	8	24	
4	仕事をしたいとは思わない、または仕事ができない	39	5	31	
5	その他	3	1	2	
	無回答	5	1	3	
	希望率	41.3%	61.1%	51.4%	

問34 問33で「1」から「3」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。

あなたは、どのような仕事がしたいですか。（1つに○）

【調査結果】

仕事の種別では、全体でみると「工場で製品を作ったりする製造業の仕事」と答えた人が多くなっています。

また、障がいの種別でみると、身体障がいのある人では、「机に座ってパソコン操作などをする事務的な仕事」が多く、知的障がいのある人や精神障がいのある人では、「工場で製品を作ったりする製造業の仕事」が多くなっています。

		総数	(71)		
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	畑仕事や牛や馬のお世話などの農業の仕事	5	7.0%	9.2%	-2.2%
2	工場で製品を作ったりする製造業の仕事	20	28.2%	22.5%	5.7%
3	人と接して商品を売ったりする販売の仕事	7	9.9%	15.8%	-5.9%
4	机に座ってパソコン操作などをする事務的な仕事	15	21.1%	20.8%	0.3%
5	料理を作ったりする飲食業の仕事	5	7.0%	5.8%	1.2%
6	その他	13	18.3%	17.5%	0.8%
	無回答	6	8.5%	8.3%	0.2%

【障がいの種別集計】

		総数	(166)	(32)	(119)
	回答		身体	知的	精神
1	畑仕事や牛や馬のお世話などの農業の仕事		1	2	3
2	工場で製品を作ったりする製造業の仕事		7	4	11
3	人と接して商品を売ったりする販売の仕事		6	1	4
4	机に座ってパソコン操作などをする事務的な仕事		8	1	7
5	料理を作ったりする飲食業の仕事		3	2	3
6	その他		6	1	8
	無回答		2	0	2

問35 あなたは、障がいのある方が会社などで勤めるにあたって、そのような配慮が必要だと思いますか。（複数回答）

【調査結果】

会社などで勤めるうえでの配慮として、全体でみると「職場内での障がいに対する理解」、「障がいの状況に合わせた働き方」と答えた人が半数以上となっています。

また、障がいの種別でみると、身体障がいのある人では、「求人情報の提供」、知的障がいのある人では、「トライアル雇用などの事業の充実」、精神障がいのある人では、「就労に対する相談体制の充実」と答える人が多いです。

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	就労に対する相談体制が充実していること	92	32.6%
2	障がい者向け求人情報の提供が充実していること	90	31.9%
3	職場内での障がいに対する理解があること	156	55.3%
4	障がいの状況に合わせて、働き方(仕事内容)が柔軟であること	159	56.4%
5	通勤や移動に対する配慮や支援があること	78	27.7%
6	トライアル雇用やジョブコーチ派遣などの事業が充実していること	74	26.2%
7	法定雇用率の強化や達成促進により、雇用先が増えること	58	20.6%
8	その他	4	1.4%
9	わからない	33	11.7%
	無回答	39	13.8%

【障がいの種別集計】

	総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神
1	就労に対する相談体制が充実していること	49	8	48
2	障がい者向け求人情報の提供が充実していること	50	6	43
3	職場内での障がいに対する理解があること	81	18	76
4	障がいの状況に合わせて、働き方(仕事内容)が柔軟であること	86	16	76
5	通勤や移動に対する配慮や支援があること	44	7	40
6	トライアル雇用やジョブコーチ派遣などの事業が充実していること	33	13	38
7	法定雇用率の強化や達成促進により、雇用先が増えること	38	3	25
8	その他	1	0	3
9	わからない	23	4	10
	無回答	25	7	14

情報収集について、おうかがいします

問36 町が発行している「みんなのふくし～障がい者の福祉制度について～」をご覧になったことがありますか。（1つに○）

【調査結果】

全体、障がいの種別でみても、「見たことがない」と答えた人が多いです。

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	読んだこともあり、内容もわかりやすかった	73	25.9%	31.3%	-5.4%
2	読んだことはあるが、内容がわかりにくいと感じた	26	9.2%	11.0%	-1.8%
	1.字が小さくて見づらい	(3)	(11.5%)	(3.0%)	8.5%
	2.内容がむずかしすぎる	(4)	(15.4%)	(45.5%)	-30.1%
	3.専門的な言葉づかいが多すぎる	(9)	(34.6%)	(24.2%)	10.4%
	4.その他	(10)	(38.5%)	(27.3%)	11.2%
3	「みんなのふくし」だけではわかりにくいので、もっと詳しい情報がほしい	26	9.2%	14.3%	-5.1%
4	見たことがない	136	48.2%	35.3%	12.9%
	無回答	21	7.4%	8.0%	-0.6%

【障がいの種別集計】

		総数	(166)	(32)	(119)
	回答		身体	知的	精神
1	読んだこともあり、内容もわかりやすかった	57	3	19	
2	読んだことはあるが、内容がわかりにくいと感じた	18	1	12	
	1.字が小さくて見づらい	1	0	3	
	2.内容がむずかしすぎる	4	0	0	
	3.専門的な言葉づかいが多すぎる	5	1	4	
	4.その他	8	0	5	
3	「みんなのふくし」だけではわかりにくいので、もっと詳しい情報がほしい	20	5	11	
4	見たことがない	59	18	70	
	無回答	12	5	7	

問37 あなたは、障がい福祉制度などの情報をどのように集めていますか。（複数回答）

【調査結果】

情報収集方法として、全体でみると、「テレビ、新聞、情報誌」、「医療機関職員」、「インターネット」と答えた人が多くなっていますが、特に知的障がいのある人では、「サービス事業所の職員」、「家族や親戚」と答えた人が多くなっています。

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	インターネット	53	18.8%	12.7%	6.1%
2	テレビ、新聞、情報誌	102	36.2%	40.3%	-4.1%
3	家族や親戚	52	18.4%	24.0%	-5.6%
4	医療機関職員（主治医・看護師・ケースワーカーなど）	61	21.6%	24.7%	-3.1%
5	保健福祉センターの職員や保健所の保健師	26	9.2%	13.0%	-3.8%
6	社会福祉協議会の職員	7	2.5%	3.7%	-1.2%
7	職場関係の人や学校の先生	8	2.8%	0.7%	2.1%
8	障がい者サービス事業所・相談支援事業所の職員	32	11.3%	5.0%	6.3%
9	友人や知人	28	9.9%	10.7%	-0.8%
10	障がい者団体や患者の仲間	12	4.3%	7.0%	-2.7%
11	身体障がい者相談員・知的障がい者相談員（地域相談員）	6	2.1%	2.3%	-0.2%
12	民生委員・児童委員	4	1.4%	1.0%	0.4%
13	ハローワークや十勝障がい者就業・生活支援センターの職員	11	3.9%	-	-
14	その他	14	5.0%	3.3%	1.7%
15	情報を集める手段がない	31	11.0%	10.0%	1.0%
	無回答	25	8.9%	9.7%	-0.8%

【障がいの種別集計】

		総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神	
1	インターネット	31	1	23	
2	テレビ、新聞、情報誌	61	9	36	
3	家族や親戚	26	7	21	
4	医療機関職員（主治医・看護師・ケースワーカーなど）	31	3	37	
5	保健福祉センターの職員や保健所の保健師	15	4	11	
6	社会福祉協議会の職員	6	1	2	
7	職場関係の人や学校の先生	6	0	3	
8	障がい者サービス事業所・相談支援事業所の職員	13	7	19	
9	友人や知人	17	1	10	
10	障がい者団体や患者の仲間	9	0	5	
11	身体障がい者相談員・知的障がい者相談員（地域相談員）	3	2	2	
12	民生委員・児童委員	2	1	3	
13	ハローワークや十勝障がい者就業・生活支援センターの職員	4	2	6	
14	その他	5	3	10	
15	情報を集める手段がない	19	6	16	
	無回答	15	4	8	

地域防災について、おうかがいします

問38 あなたは、災害が起きたときに、自分ひとりで避難できますか。（1つに○）

【調査結果】

「自分で避難できる」と答えた人が68.1%となっています。一方で、「自分で避難できないし、近所に助けを求めることもできない」と答えた人が全体の8.9%となっています。

		総数	(282)
	回答	件数	割合
1	自分で避難できる	192	68.1%
2	自分で避難できないが、近所に助けてくれる人がいる	10	3.5%
3	自分で避難できないが、近所に助けを求めることができる	12	4.3%
4	自分で避難できないし、近所に助けを求めることもできない	25	8.9%
5	わからない	27	9.6%
	無回答	16	5.7%

【障がいの種別集計】

	総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神
1	自分で避難できる	105	14	88
2	自分で避難できないが、近所に助けてくれる人がいる	8	2	2
3	自分で避難できないが、近所に助けを求めることができる	10	0	6
4	自分で避難できないし、近所に助けを求めることもできない	18	3	8
5	わからない	13	9	11
	無回答	12	4	4
	「4」と回答した(救助必要)割合	10.8%	9.4%	6.7%

問39 もし、災害が起きたときの不安は何ですか。（複数回答）

【調査結果】

避難先での困りごととして、「災害の情報が伝わってこない不安」、「薬や医療が確保されない」、「プライバシーの保護が守られない」と答えた人が多くなっています。障がいの種別でみると、バラつきがあり、身体障がいのある人は「障がいにあった設備の不安」、知的障がいのある人は「コミュニケーションの不安」と答えた人が多いです。

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	災害の状況や情報が伝わってこない不安	93	33.0%	24.0%	9.0%
2	避難先へ移動できるかの不安	91	32.3%	29.3%	3.0%
3	避難所におけるコミュニケーションの不安	68	24.1%	25.3%	-1.2%
4	避難所における障がいにあった設備(トイレなど)の不安	79	28.0%	24.7%	3.3%
5	避難所でのプライバシーの保護の不安	96	34.0%	44.3%	-10.3%
6	介助、介護してくれる人がいない	18	6.4%	9.7%	-3.3%
7	薬や医療が確保されない	109	38.7%	46.0%	-7.3%
8	その他	8	2.8%	4.3%	-1.5%
9	特に不安はない	44	15.6%	13.0%	2.6%
	無回答	20	7.1%	6.7%	0.4%

【障がいの種別集計】

	総数	(166)	(32)	(119)
回答	身体	知的	精神	
1 災害の状況や情報が伝わってこない不安	50	13	42	
2 避難先へ移動できるかの不安	60	12	36	
3 避難所におけるコミュニケーションの不安	25	12	34	
4 避難所における障がいにあった設備(トイレなど)の不安	60	9	25	
5 避難所でのプライバシーの保護の不安	48	11	48	
6 介助、介護してくれる人がいない	11	4	8	
7 薬や医療が確保されない	51	10	61	
8 その他	2	1	4	
9 特に不安はない	29	6	16	
無回答	13	5	6	

地域における障がいへの理解について、おうかがいします

問40 あなたは、自分が「障がいをもっている」ことで周りの人から差別されるなど、嫌な思いをしたことがありますか。（1つに○）

【調査結果】

周りの人から差別として、「嫌な思いをしたことがない」と答えた人が前回調査から比べて、多くなっています。「嫌な思いをしたことがあり、障がいの理解が足りない」、「嫌な思いをしたことがあるが、最近をよく理解してくれている」と答えた人が全体の41.5%となっています。

		総数 (282)			
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	嫌な思いをしたことがあるし、周りの人は障がい者についての理解が足りない	71	25.2%	21.0%	4.2%
	1.店内での対応や施設設備	(15)	(21.1%)	-	-
	2.公共交通機関での対応や施設設備	(4)	(5.6%)	-	-
	3.公共施設や窓口での対応や施設設備	(5)	(7.0%)	-	-
	4.イベント参加での対応	(1)	(1.4%)	-	-
	5.地域の住民やまちかどでの視線	(17)	(23.9%)	-	-
	6.家族からの視線	(9)	(12.7%)	-	-
	7.職場内での対応	(11)	(15.5%)	-	-
	8.その他	(9)	(12.7%)	-	-
2	嫌な思いをしたことがあるが、最近では周りの人が自分のことをよく理解してくれる	46	16.3%	23.0%	-6.7%
3	嫌な思いをしたことがない	129	45.7%	41.0%	4.7%
4	その他	10	3.5%	4.3%	-0.8%
無回答		26	9.2%	10.7%	-1.5%
「1」、「2」と回答した(嫌な思いをした経験がある)割合			41.5%	44.0%	

【障がいの種別集計】

		総数	(166)	(32)	(119)
	回答		身体	知的	精神
1	嫌な思いをしたことがあるし、周りの人は障がい者についての理解が足りない		38	8	33
	1.店内での対応や施設設備		12	3	5
	2.公共交通機関での対応や施設設備		3	0	1
	3.公共施設や窓口での対応や施設設備		2	1	1
	4.イベント参加での対応		0	0	1
	5.地域の住民やまちかどでの視線		11	1	7
	6.家族からの視線		3	1	7
	7.職場内での対応		2	1	9
	8.その他		5	1	2
2	嫌な思いをしたことがあるが、最近では周りの人が自分のことをよく理解してくれる		25	6	19
3	嫌な思いをしたことがない		81	10	54
4	その他		7	1	5
無回答			15	7	8
「1」、「2」と回答した(嫌な思いをした経験がある)割合			38.0%	43.8%	43.7%
【前回】割合			43.1%	41.7%	48.3%

問41 幕別町は、障がいのある人にとって暮らしやすいと思いますか。（1つに○）

【調査結果】

暮らしやすさとして、「暮らしやすい」、「まあまあ暮らしやすい」と答えた人の割合が全体の50.7%であり、前回の調査から比べて、22.3%下がっています。障がいの種別で見ても、同じ傾向にあり、特に身体障がいのある人は、「どちらともいえない」と答えた人が多いです。

		総数	(282)		
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	暮らしやすい	38	13.5%	37.7%	-24.2%
2	まあまあ暮らしやすい	105	37.2%	35.3%	1.9%
3	すこし暮らしづらい	27	9.6%	8.3%	1.3%
4	暮らしづらい	14	5.0%	3.7%	1.3%
5	どちらともいえない	77	27.3%	9.7%	17.6%
	無回答	21	7.4%	5.3%	2.1%

【障がいの種別集計】

		総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神	
1	暮らしやすい	24	4	17	
2	まあまあ暮らしやすい	50	15	47	
3	すこし暮らしづらい	20	6	9	
4	暮らしづらい	8	1	7	
5	どちらともいえない	50	4	31	
	無回答	14	2	8	
	「1」、「2」と回答した(暮らしやすい・まあまあ暮らしやすい)割合	44.6%	59.4%	53.8%	
	【前回】割合	76.9%	69.4%	67.4%	

問42 あなたは、障がいのある人にとっても暮らしやすいまちづくりをするために、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

【調査結果】

暮らしやすくするために望むこととして、「障がいに対する理解」、「経済的な援助」、「情報提供の充実」、と答えた人が多いです。また、今回の調査では、「障がいに対する理解」と答えた人が前回調査から比べて高くなっており、「働く場の拡大」と答えた人が多くなっています。

また、障がいの種別をみても同じ傾向にありますが、特徴として、身体障がいのある人と知的障がいのある人では、「移動手段への充実」、精神障がいのある人では、「話し合える仲間」と答えた人が多くなっています。

		総数	(282)		
	回答	件数	割合	【前回】割合	増減
1	障がいのある方に対する周りの人の理解を深めてほしい	104	36.9%	28.3%	8.6%
2	自宅で介護を受けられるサービスを充実させてほしい	47	16.7%	9.0%	7.7%
3	働くところが少ないので、働くところを増やしてほしい	80	28.4%	26.3%	2.1%
4	昼間に活動できるような場所を増やしてほしい	35	12.4%	11.0%	1.4%
5	外出しやすい環境や交通機関の利便など移動手段への支援対策を充実してほしい	67	23.8%	21.3%	2.5%
6	具合が悪くなったら、すぐに対応してくれる医療機関がほしい	63	22.3%	22.3%	0.0%
7	障がいのある友達といっしょに暮らすグループホームなどを増やしてほしい	27	9.6%	9.3%	0.3%
8	いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい	74	26.2%	20.3%	5.9%
9	何でも話し合える仲間がほしい	52	18.4%	17.7%	0.7%
10	生活するうえでの経済的な援助を増やしてほしい	98	34.8%	33.7%	1.1%
11	各種サービスや制度・医療機関などの情報提供を充実してほしい	80	28.4%	29.3%	-0.9%
12	防災・災害対策や防犯対策を充実してほしい	48	17.0%	19.7%	-2.7%
13	その他	12	4.3%	3.0%	1.3%
14	とくにない	33	11.7%	13.0%	-1.3%
	無回答	27	9.6%	9.0%	0.6%

【障がいの種別集計】

	総数	(166)	(32)	(119)
	回答	身体	知的	精神
1	障がいのある方に対する周りの人の理解を深めてほしい	51	13	53
2	自宅で介護を受けられるサービスを充実させてほしい	33	7	19
3	働くところが少ないので、働くところを増やしてほしい	44	9	36
4	昼間に活動できるような場所を増やしてほしい	16	5	19
5	外出しやすい環境や交通機関の利便など移動手段への支援対策を充実してほしい	40	7	27
6	具合が悪くなったら、すぐに対応してくれる医療機関がほしい	37	4	32
7	障がいのある友達といっしょに暮らすグループホームなどを増やしてほしい	9	6	16
8	いつでも何でも相談できる窓口を用意してほしい	38	4	35
9	何でも話し合える仲間がほしい	20	6	36
10	生活するうえでの経済的な援助を増やしてほしい	52	12	45
11	各種サービスや制度・医療機関などの情報提供を充実してほしい	45	9	37
12	防災・災害対策や防犯対策を充実してほしい	29	7	22
13	その他	6	0	6
14	とくにない	21	4	13
	無回答	17	5	8

問26 あなたやご家族の方が思っていることを自由に記載してください。

【調査結果】

自由意見は66人(有効回答数の23.4%)が回答し、意見の内容件数として87件となっています。主な意見の内容は以下のとおりです。

【障がいへの理解について：15件】

- ・ 内部機能の障がいの者は、外見で健常者と変わらないため、障がい者用の駐車スペースや優先席を利用するとまわりの人からいつも変な目で見られる(口頭で注意された事もある)。身体の調子が不調であっても利用できず、嫌な思いをすることがよくあります。現在の障害者用駐車スペース等の在り方・運用について問題を感じます。
- ・ 障がい者の中には、障がい者である事を隠して生活している人もいる事をせめて自治体だけでも理解して欲しいです。
- ・ 見た目では理解しづらい精神障がいや、軽度の障がい者への知識のなさや偏見が少しでもなくなり、「色んな人がいて当たり前」というのがもっと広まって欲しいと思います。そのためには、幼いころからの教育や障がい者とのふれあい、偏差値教育の改正などが必要不可欠だと思います。そして雇用にこだわらず、障がいがあってもなくても、自分の力で自立して生活できるようもっと国全体が柔軟化する必要があるとも感じます。
- ・ 私は自立支援を受けていますが、精神病というのは、夫ですら理解しにくいようで、苦しくなる時もあります。主治医からお話をしてもらっても、見た目で特に障がいがあるようには見られないので、それも辛くなる時があって、無理を重ねて、発作が起こることもあります。
- ・ 「障がい」、「障害」とどちらを書いても同じ意味です。この言い方を何とか変えられるようにして欲しいです。がい、害、どちらも嫌な特別な響きです。この言われ方が一番嫌です。特別な標記の仕方を皆で考えて頂きたいですね。
- ・ 見た目では、障がいがあるとわからないので、何でもないように扱われますが、いちいち会う人に説明して理解してもらうのが面倒なので、外出の機会も減りました。
- ・ 障がい(精神的、情緒的)な人たちは、元々もっている障がいより、二次的(偏見や差別からくる自信をなくす等)なものが大きいと言われている。また悲しいことに、障がいに携わっている人や専門家と言われる人たちが、障がいをもっている人に対する偏見や差別意識をもって接してきており、またタチの悪いことにそれに気づいていないのが現状です。障がいは、さまざまな障がいがあり、その一つ一つがマニュアル化された対応で、大書きされている。しかし、焦点化してほしいのは、その人ごとの困り感にどのように対処していくかであり、そのニーズを果たせるような対策をぜひ考えてほしいと思う。
- ・ 祖父母の理解も低く、視線が冷たい。周りはなんでも言いたい放題で、目の前で苦しんでいる子供の本当の声を聞いてくれようとしてくれない。子供達もひっしなのに。
- ・ もしも自分自身が、聴覚障がい者になった時、こんな対応や扱いをされても良いものなのか、なかなか理解されにくいと思われます。聴覚障がい者は、常に24時間日常生活の中、情報収集しないと不安が起こり、生活の流れに合わせる努力や人とのコミュニケーションが満たされない寂しさの中で、日々過ごしています。新得、石狩のような、手話言語条例を1日でも早く実施してほしいと願っております。

【窓口対応・相談支援について：12件】

- ・ 福祉センターの職員の方に相談をした場合、たらい回しにしないで情報を共有してもらいたいです。何度も同じ話を各部署で話すのは疲れます。説明するのに時間のかかる病気だと思うので家族も疲れます。
- ・ 役場に障がい者関係の手続きに行くと、職員の対応が素っ気なく、不親切な事が多い。わからないから、訪ねているので、心のこもった対応をして欲しいです。
- ・ 保健福祉センターの窓口を訪れた際に「障害福祉係のお客様」と大きな声で職員を呼ぶ行為に不快感を覚えました。窓口番号をつけて「何番口のお客様です」と、さり気なく職員同士で連絡を取り合って欲しいと思います。
- ・ 福祉サービスについて、札内支所へ聞きに行きました。その時の男性職員の態度が気になりました。私の顔を見ず、書類を見ながら説明する姿が事務的でした。もう少しこちらの立場に沿うような対応を期待してます。
- ・ 何でも困りごと課みたいのがあると、窓口一つで良いと思います。私は障がいが軽いので、今のところ大丈夫ですが、あと何年かでご相談の体となるかもしれません。その時はお願いに行きます。
- ・ 役所の方は、決して上から目線で障がいをもった人を見ないで下さい。
- ・ 福祉課の職員には、もう少し言葉に当たったかさが必要かと思う。誰も好きで障がい者にはなりません。本庁に質問に対して、きちんとした説明や答えを話さない。都会の役所と違い、地方の職員は、住民に対する態度が多分大きいと常を感じてます。都会の様にとは言わずとも、もっともっと心を込めて対応して下さい。
- ・ アドバイスの的にもらえる事もなく、退院した半年頃、自分は死のうかと思うくらいでした。保健師さんの訪問を早めるようお願いしてくれたはずが、通常よりも遅く、こちらから電話してようやく来てくれたように思いました。他人からすると、小さな悩みのように思われても、私のような人間は、とても大きく感じることもあるので、そういう所で不信感はあったりしました。1人の人に密着することが難しいのはわかりますが、もっと気にかけてもらいたかったりします。どういう事を望んでいるのかわからなければ、医師からの診断書等で把握してもらえいいなと思いました。言えなくて一人で考えこんでる人が、自殺や殺しに来ると思うので、それなりの勉強、知識を持っている人であれば、もっと柔軟に対応してもらえて助かるなと思います。
- ・ 相談する所もわからないので、もっと福祉課の人達に色々と教えて欲しいと思います。自分も障がい者にならなかつたら、わからない事がいっぱいあったと思いますが、もっと色々な面で障害者の目線で考えて欲しいと思います。
- ・ すべての障害者に対して、ケアマネージャーをつけてほしいと思います。その理由として、誰にも相談できないで自分一人で悩みをかかえてしまっている人が多いと思うし、専門の人がいたら、気持ち的や精神的にも楽になると思うからです。
- ・ 相談できる人はいるけど、らちがあかず、先がみえません。

【就労・雇用について：9件】

- ・ 仕事をするうえで、通いが大変なので、札内近郊で働く場所がほしい。
- ・ 障害があるので働きたくても働けない。幅広い就労活動を周知願いたい。

- ・ 幕別町にハローワークがなく、帯広（ハローワーク）に行き、障害者の窓口相談するが、幕別や札内の会社の事は知らない様子なので、結局、幕別在住の人達の方が会社の事を知っているのではないかと思います。
- ・ 働く場所が少ないので増やして欲しい！切に願います。
- ・ 障害者が働けるところをもっと増やして欲しいと思いました。仲間と協力しあい助けあうこと等でより良い障害福祉が出来ると思います。
- ・ 幕別町本町内の職場体験の実習場所を増やしてほしい。
- ・ 会社には病気の事は伏せてあるので、理解が得られなくて辛い。

【経済的支援について：8件】

- ・ 障がい者であり、年金生活者である。物価、公共料金の値上げ等で生活が苦しい。少なくとも公共料金を抑えて欲しい。
- ・ 経済的な援助はもちろんですが、本当に困っている人にもっともっと援助が必要だと思えます。
- ・ リバースモーゲージを導入して頂きたい。
- ・ 障がい年金でグループホームでくらしたいけど、それもムリみたいです。
- ・ 将来、障がい者に対する援助が減少するのではないかと心配しています。

【福祉制度について：6件】

- ・ 財政面で苦しいとは思いますが、更なるサービス等の充実を希望します。
- ・ 幕別町は、他の市町村から比べると、障害者に対する助成が不足している。
- ・ 手帳に当てはまらない術後や退院後の療養中の人たちの支援が必要不可欠ではないかと思う。
- ・ 一度、病院代が高いので、福祉の窓口で相談しに行きましたが、ペースメーカーなど入っていないので、ダメと言われた。このように身体にいくつかの問題があるのに、どうして身障手帳はだしてもらえないものか、聞きたいです。
- ・ 障がい等級の基準があいまいで、よくわかりません。膀胱も直腸も同じ基準で等級をつけても良いと思います。

【情報発信について：6件】

- ・ 「みんなのふくし～障害者の福祉制度について～」の発行は、10年以上前に見たことがあるのですが、それ以来送ってこないで、2～3年に1度くらいは送って欲しいです。
- ・ 障がい者の町行政が何をしているのかわからないので周知して欲しい。
- ・ 今年、身体障害者手帳を取得したばかりで、まだまだわからない事ばかりです。手帳を取得の際、「みんなのふくし」が送付されましたが、詳しく窓口等で説明して頂ける機会があると助かります。文字だけの情報では理解し得ない部分もあります。自分にあてはまるものかどうかの判断も厳しい。
- ・ 公共機関は、こちらから聞かないと福祉サービス（制度など）を教えてくれないので、新聞や町の公報などに情報を載せて、もっと解りやすくして欲しい。
- ・ 毎年少しずつ福祉の内容（法律）が変わるので、手続きの度に覚えきれずあわてております。

【その他：31件】

- ・ 前回もこの様なアンケートがあったと思うが、その結果が伝わってこない。覚えていないのかもしれませんが、記憶にない。このアンケートで読み取った事をどのように改善していくか知りたいと思います。これから高齢化になり、障がい者も年を取り、増々暮らしづらくなり、お手もかけると思いますが、このアンケートが活かされることを切に願います。
- ・ 言葉が難しすぎて理解できない。もっとわかりやすい言葉を使ってください。
- ・ 障がい者でも借りやすいアパートや家を増やして欲しい。
- ・ 両親を亡くした知的障がい者が安心して安い料金で世話をしていただける入居施設を増やして欲しいと思っています。
- ・ 家の前が真っ暗なので、街灯が欲しい。
- ・ 歩道は、車イスが通りづらい。斜めでせまい所や段差が多い。
- ・ 札内に引っ越して半年、それまでは木野に18年間住んでいました。術後、毎日プールに行って、リハビリしました。札内でもそんな施設や筋力のトレーニングなど教えて下さる場所があるといいのなと思っています。
- ・ 冬は、除雪車が自宅の前に雪を置いていく。除雪車の雪は重く、私には除雪できず、外出にとても困っている。
- ・ 障がいがある人もない人も生きていかねばなりません。全ての人達のことを考えた上で住みやすいまちづくりを期待しております。
- ・ 私が投げかけた質問などをふまえ、まずはご自身の身のまわりをよく見聞きし、どのような「まち」がご自身にとって、家族や友人知人にとって、暮らしやすいものなのか、よく考えてみて頂きたいです。
- ・ 幕別町は、まだまだ福祉に対して遅れていると思います。帯広市、音更町に見習い、より良い障がい者の過ごしやすい町づくりに全力で取り組んでほしいと思います。
- ・ 日本は、「自由度」が無さ過ぎると思います。地方の自治体が主体となり、自由なイベントを定期的に行ったり、場所を提供したりするなど何かしら手はあると思う。「障がい者だから働かなくてもいい」と思っている人なんて、実際はごく一部で本当は多くの方が社会の役に立ちたい、自分でお金を稼いで暮らしたいと思っています。病院代や薬代に助成などをしていただき負担をおかけしている分、少しでも納税してお返ししたいです。そのためのきっかけ作りや支援などをお願い出来たら嬉しいです。

幕別町障がい者福祉計画
第４期幕別町障がい福祉計画の策定に関する
アンケート調査報告書

平成26年12月

編集・発行 〒089-0611 幕別町新町122番地 1
幕別町保健福祉センター内
幕別町民生部福祉課
TEL 0155-54-3811
FAX 0155-54-3839